

組合だより

<http://fukui-city-shinrin.jimdo.com/>

# しんりん 組合だより

2016  
No.60

編集・発行 福井市森林組合

福井市文京6丁目11番13号 TEL (0776)23-4008



フォワーダ（6t）購入

## contents

▶ 第41回通常総代会・合併総代会	2	▷ 福井市森林組合合併40周年記念式典	5
▷ 平成27年度決算報告	3	▶ 日本の林業をバックアップするたのしい味方、誕生!	6
▶ 平成28年林家組合長名簿一覧表	4	▷ コミュニティ(集落)林業の推進	7

# 第41回 通常総代会

第四十一回通常総代会は、二月二十八日(日)午前九時より福井市農業協同組合本店大ホールにおいて、伊勢福井県農林水産部企画幹(知事代理)、東村福井市長、関福井県森林組合連合会長をはじめ、多数のご来賓のご出席を賜りご祝辞をいただき盛大に開催することが出来ました。

議事に先立ち永年本組合の経営に尽力されました前理事上林増太郎氏と前理事高橋秀隆氏の表彰が行われました。

議長には内山梨子町の竹川重弘氏が選任され、事業報告や事業計画などの議案をご承認いただくことが出来ました。

## 合併総代会

つづいて、午前十一時より、同会場において吉田郡森林組合との合併総代会が開催されました。議長には、通常総代会と同じく竹川氏が選任され、福井森林組合設立、合併予備契約書承認、事業経営計画案、設立委員会規程、設立委員選任などの議案をご承認いただくことが出来ました。

この合併総代会を機に組合員皆様に信頼され、地域に必要とされます新しい森林組合となりますよう、尚一層の努力をしていきます。今秋には新組合として、「福井森林組合」として出発します。



## あいさつ

代表理事組合長 豊岡 北士

本組合は、昭和五十年に旧福井市森林組合・旧福井市第二森林組合・旧足羽町森林組合が規模拡大による組織の強化を目指して広域合併し、昨年で四十周年を祝うことが出来ました。この機会に組合員各位に心からの敬意と感謝を申し上げます。発足の四十年代では、森林は林家の確かな資産としての価値もあり、森林や林業は厳しいながらも高い評価がされていた時代でありました。

しかし、六十年代以降からの国民生活の向上は、薪・炭の需要から石油などの化石燃料中心に代わりました。また、戸建住宅の普及は、大量の外材が輸入され、国産材は昭和五十五年をピークに約三分の一にまで落ち込んでいます。この様な情勢は、山里からは若者が去り高齢化が一段と進み、地域の山里では有害鳥獣による被害にさらされています。一方、県のグリーン県政に呼応したスギやヒノキは、順調に生育し今大切な除間伐の時期をむかえています。

わが組合では、これらの状況に危機感を持ち、国の政策である「森林・林業再生プラン」による国産材50%達成の目標に呼応し、組合員に事業計画や「経営計画」を提案し、高性能機械の導入とともに組合員に代わって集約化した施業ができる施業プランナーと事業体を育成してまいりました。その結果、各地域に路網が整備され、除間伐等が飛躍的に進展し、管内では整備された確かな森林を見ることが出来ます。なお、森林組合が受託するには、組合員からの深いご理解と境界等の明確化が必要です。施業地では日ごとに困難を極めて来ますが、昨年は組合員の絶大なご協力により森林整備部門で一〇〇ha、路網整備で三〇〇〇m、搬出材二五〇〇〇mを見ることが出来ました。また、昨年からC材を中心に利用間伐されて奥越のバイオ発電所に六五〇〇mを供給しています。その結果、今年も組合員への出資配当が見込まれることとなりました。これもひとえに、県・市の関係行政先の絶大なご指導と福井県森連を初めとする県下系統組織の力強いご協力の賜物と感謝しているところであります。なお、近隣組合との施業協力協定に始まった更なる広域合併の動きは、来る十月一日には、ご案内の吉田郡森林組合との合併を計画し総代会の議を得て正式に発足する予定であります。合併後の「福井森林組合」は、組合員約三、五〇〇名と森林面積二〇、八〇〇haの中堅組合として再発足する予定であります。関係各位には、今後とも絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 祝辞

福井市長 東村 新一様

福井市森林組合の皆様には平素より林業の振興、特に国見岳森林公園管理等に多大な御協力をいただいておりますことに、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。また、

昨年暮れの市長選挙におかれましては、皆様の温かいご支援を賜り誠にありがとうございます。さて、皆様ご承知のとおり木材価格の低迷をはじめ、林家の高齢化、不在地主の増加等、林業に取り巻く環境は厳しい状況にあり、福井市では森林のあるべき姿を見据えた今後五年間の林業の取り組む方向性を定め、新たな福井市林業水産業プランをこの二月に設定したところです。このプランでは切つて使つて守る森づくりを推進するため、集約化施業の促進や高性能林業機械の導入等による森林整備の促進、間伐材の搬出による森林資源の利活用の拡大の取り組み、担い手の育成や森林公園施設を活用した守る森林・林業の転換を推進することといたします。今後とも福井市の林業の振興を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、先月には吉田郡森林組合と合併予備契約調印式を滞りなく執り行われ、秋の合併に向け準備が進められていると伺っております。円滑な事業の継承、豊かな福井の森林を次世代に引き継いでいただきますようお願い申し上げます。



# 福井市森林組合合併40周年記念式典



合併40周年記念式典は平成27年10月2日にフェニックス・プラザにおいて、中村福井県農林水産部長（知事代理）、東村福井市長、堀江福井市議会議長、関福井県森林組合連合会長をはじめ多数のご来賓のご出席を賜りご祝辞をいただき盛大に開催することが出来ました。式典には来賓、組合員、関係者約150人が参加しました。はじめに本組合の近況報告を島川主幹が行い、長年本組合の発展に寄与されました山根元組合長、西出元組合長、佐々木下一光林家組合長に感謝状の贈呈がありました。また、永年勤続されました5人の職員に表彰が行われました。

式典につづき祝賀会が開催され、酒井元福井市長の乾杯で始まり、中嶋宗生流剣詩舞道会による春簾雨窓、雪梅、勸進帳の舞三題で会場を飾り盛大に開催することが出来ました。

## 式典挨拶

代表理事組合長 豊岡 北士

(一部抜粋)

本組合は、昭和50年4月17日に旧福井市森林組合、福井市第二森林組合、足羽町森林組合の3組合が広域合併して発足しました。設立当初は、資本金40,089千円、組合員2,467人、作業班員212人、職員12人で発足しました。当時の広域合併としては県下最大規模の発足でした。発足当時の本組合はグリーン県政に呼応し、毎年200ha以上の杉桧の植林に努めてきました。その後輸入木材が年々増加し、国産材の価格が下落の一途をたどり林業従事者の減少や高齢化で山離れが進み、組合の存続が危ぶまれる時期もありました。

しかし、山を守るのは森林組合に課せられた責務であると組合員が一致団結し、国の森林・林業再生計画に呼応し、新たな事業体の育成、高性能林業機械等の導入を年々強化し、良質な木材を市場に供給してまいりました。これらは水源林の確保でもあり、健康で豊かな環境と住生活を地域に提供することでもありました。大きくは国土の保全、地球温暖化と土砂災害防止に対応した壮大な事業でもありました。また、本組合はこれらの施業を通じて県内の各森林組合と全国の森林組合の仲間達とも連携し、系統組織運動としての地域の平和と民主の増進にも貢献してまいりました。これらの運動と事業は、新たなバイオマスへの供給事業を含め一段と強化され、林業には新たな夢と未来が見えてきています。なお、これらの事業推進には福井県、福井市の行政先からも力強いご指導とご支援がありました。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

私たちは今日の厳しい森林・林業情勢の中ではありますが、40周年を節目として今後とも協同組合運動の基本である「定義・価値・原則」に基づき更に団結し、組合員の生活向上と地域の発展に努力してまいります。



(円/m³)

## 福井県森連市場

木材市況 (H28.3)

(例1)

杉3.0m×22cm丸太

0.145m³×11,090=1,600円/本

(例2)

杉4.0m×30cm丸太

0.360m³×10,663=3,830円/本

樹種	長さ	径級	価格(高値)	価格(中値)	価格(安値)
すぎ	3.0	16~18	12,000	10,670	6,000
		20~24	13,000	11,090	
		26~32	14,000	12,533	
	4.0	16~18	12,000	8,730	6,000
		20~24	13,000	8,723	
		26~30	15,000	10,663	
ひのき	3.0	16~18	13,000	12,782	12,000
		20~24	14,000	12,886	

日本の林業をバックアップする  
たのもしい味方、誕生！

グラップルで挟むだけで、  
バケット作業が出来る「大義バケット」が、  
完成しました。

今まで、ありそうで無かった、「あつたらいいな。」って思っていたバケット。

搬出路の傷んだ箇所は補修が出来て、盛土法面を綺麗に整形して、作業中の道で簡易の排水が簡単に作れるバケットを造りました。

グラップルに脱着わずか五秒で様々な作業が行えて、バケットを外せば再びグラップル作業が出来ます。

大義バケットが完成するまでの経緯を記述したいと思います。

日本の林業をバックアップする  
たのもしい味方、誕生！

道作りの常識を変える！  
脱着わずか5秒で、  
様々な作業が可能に！

転圧専用  
重機バケット

特許取得済

バックホウを使用する作業

- 1 道の支障木伐採
- 2 道の開設
- 3 間伐
- 4 集材
- 5 造材
- 6 運搬
- 7 トラック運搬
- 8 跡形付け

この間使用する事が無い

図-①

利用間伐をする時を、図-①の様に作業種別にしてみました。  
図-①の様に、バックホウを使用する作業種別が限られています。この間現場にバックホウを置いておかなければなりません。もしくは、他の現場に搬出して、必要な時に再び現場に搬入するようになります。機械の

現場に搬入するようになります。機械の

運搬代もばかにはなりません。その為、最後まで使用しているグラップル付きバケットホウをバケットに交換して、搬出路の補修を行っていました。何か他に上手く均し作業をして、道も沈みにくく出来る物は無いか考えました。「H鋼でも掴むかな。」とか、「土木で使う法面バケットを掴むかな。」とか色々考えましたが、「林業に合った製品で、グラップルに合ったバケットが必要だ。」と確信しました。

山林所有者様に道をお返しする時、丈夫な道で見栄えが良くなければいけません。この事を念頭に置いて作成していききました。

また、そうする事で山林所有者様の信頼に繋がっていく、森林組合自体の現場営業に繋がっていくと思います。

今まで記載した事を集約すると、

- ・出来た道が丈夫で『上手く』仕上がる。
- ・作業効率が良く、『早く』仕事出来る。
- ・作業のコスト削減に繋がりが、手頃な価格『安く』で『大義バケット』が手に入る。

この三つで、

『上手く』『早く』『安い』の、  
で、林業に少しでも役立てば、幸いです。

(業務課長補佐 中出 勲)

△ 整形後の写真

△ 排水施工の写真

## コミュニティ(集落)林業の推進

集落周辺の山林で木材が搬出しやすいところでありながら、場所や地番が細かく境界がわかりにくくなっているところに対して、集落内の森林所有者が協力しながら境界の確認を行い、計画的に木材生産に取り組む支援を福井県で行っています。組合員の皆さんと本組合が力を合わせながら、コミュニティ(集落)林業を進めていきましょう。

集落のみなさんへの補助があります

### 境界の確認について

立ち会いに必要な費用が助成されるため、できるだけ多くの方が現地で立ち会い、スムーズに境界の確認が行えた。また、道の踏査(とうさ)にも立ち会い、不安感が消えた。



コミュニティ林業支援事業  
最大140万円の定額助成  
全額県費の事業

### コミュニティ林業をした結果

- ・道ができて山に行けるようになった。
- ・みんなが山を気にするようになった。
- ・山の境界確認が進んだ。
- ・イノシシが減った(?)... などなど

コミュニティ事業  
境界確認など

造林補助事業  
間伐や道づくり



森林組合と協力して



森林組合に委託

(主幹 島川 佳隆)

## 新組合「福井森林組合」設立のお知らせ (福井市と吉田郡が10月に合併)

福井県下の森林組合は11組合あります。平成9年に森林組合合併基本構想により4組合に再編することが示されています。平成17年には奥越地区で九頭竜森林組合が、平成21年には嶺南地区でれいなん森林組合が設立されています。

本組合では、その頃同じくして合併検討委員会を構成し、坂井・高志地区の坂井・美山・吉田・福井の森林組合の広域合併について幾度となく機会を捕らえ協議を重ねてきましたが、この4組合の折り合いがつかず年月が経過していきました。

平成26年に近隣の吉田郡森林組合とまた丹生郡森林組合と事業協力協定を結び、永平寺町や丹生郡の清水町・越廼村の山林の利用間伐作業に協力してきました。また、平成27年2月には農林中央金庫の「農中森力基金」へ吉田郡森林組合と共同で「永平寺町市野々森林再生プロジェクト」を企画し、応募しましたところ選定されました。その事業成果を7月に全国の森林組合に向けて発表する作業が現在進められています。

平成27年4月には両組合の役員による合併協議会を設立し7回の協議会を重ね、財務認定委員会を開催し、基本的事項の合意や経営方針を取決め、平成28年1月29日に合併予備契約を結び、2月28日には合併総代会を開催し承認されました。今後、設立委員会において定款・規約・諸規程の作成や貸借対照表・財産目録の検討、事業計画・資金計画の作成、役員を選任と新組合の事務引継ぎを行っていきます。

新組合の経営面積は約20,800ha、組合員約3,500人、出資金約153,000千円となります。今回の合併を機により組合員の皆様に信頼され地域に必要とされます新しい森林組合となりますよう、なお一層の努力をしていきます。引き続き格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

とくしゅ ばっさい  
**特殊伐採承ります。**

こんな時は、  
福井市 森林組合

そんな時こそ、  
福井市 森林組合

※木を伐るのに危険で特殊な技術が必要な時

家の裏の竹林が荒れ放題  
どうにかならないかな



作業前

作業後

電線に枝が掛りそう



道に枝葉が、  
出てしまっ



うちの木が  
お墓に  
倒れないかな



松の木が、枯れてしまっ  
どうにかならないかな

伐採から、  
松枯れ予防の樹幹注入も  
承ります。

- ・屋敷周りの木の伐採・枝落とし。
- ・お隣さんに枝・葉が繁ってきて迷惑かけそうな時
- ・裏山の木が倒れてきそうで不安な時

お困りの方は、お電話ください  
 現地を見てから直ぐにお見積りを作ります。  
 お陰様で年間150件を超える依頼を受けました。

ヨロシク  
お願いします



JForest

電話は0776-23-4008の  
 担当者: 屋代・笹岡へ

**福井市森林組合**

## 組合員のみなさまへ

今年も出資配当のご案内をさせていただきますが、住所不明等の理由により返送される組合員がおられます。お心当たりがある方は住所等変更手続きをお願いいたします。

また、組合員資格・ご氏名・ご住所・電話番号等の変更・修正があった場合や相続による名義変更等があった場合はご連絡くださるようお願い申し上げます。



## 庭の管理は緑化木センターで!!

庭の管理等で困っていることは、ありませんか?  
 ご要望がありましたら、お気軽にご連絡下さい。

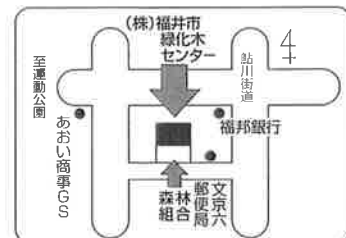
### ① 造園

設計、庭造り、石組み、剪定・雪吊り・病虫害防除等のお庭の手入れ、樹木の伐採、空き地の草刈等。

### ② 庭木販売

植木、灯籠、庭石、腐葉土などの販売。

《例》サツキ 30cm×30cm  
 花木 H=1.0~  
 ドウダンツツジ H=0.8~  
 アカメカシ H=1.0~  
 ギンモクセイ H=1.0~



造園土木・設計・施工・各種公園造成  
 庭木・庭石・灯籠・果樹苗木・肥料

(株) 福井市緑化木センター  
 TEL (0776) 22-3435  
 FAX (0776) 22-3453